常磐毎日新聞

日刊

十二月三日

定價 一部金五錢 一ヶ月金五拾錢 郵税九厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人 坂本忠治 印刷人 [illegible]
發行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社 （振替口座東京四〇二二〇番）

罹災者の救獲に 縣も萬全を期す

民家を開放衣類食品を補給

內鄕大火後報

（昨報）防火デーの一日內鄕村大字宮字竹ノ內木賃宿佐藤德治郎さん方から發火二十三棟三十八戸を全燒した外一名の燒死者を出した大火に村當局では直ちに罹災者を第三小學校に收容炊出しを行ふと共に衣類兒童學用品を調合交付し出征兵の家族には特に見舞金を贈り磐炭礦業所でも戸部の坑夫長屋を開放平太郎並びに竹內各組合は白米を贈るなど救護につとめてゐるが縣社會課からも同日松田主事補が平驛着午後二時五十分で急據來村し調査の結果取敢ず罹災者に對し食糧小屋がけ、被服など大体千五百圓程度の救助を行ふことになつた

佐藤氏の美擧

（別項）內鄕村宮字竹ノ內大火の罹災者達は一先づ宮第三小學校に收容し村當局及び炭礦側は其の救濟方法に全力をつくしてゐるが同村警防團副團長佐藤三平氏は逸早く木炭五十俵を罹災者に惠みこの寒空に無一物の罹災者達は泣いて喜び村當局はじめ村人を感激させてゐる

警防團員ら負傷

消火に盡力中

（別項）內鄕村宮の大火に同村大字宮警防團員大和田一郎君（二二）は消火に盡力中右手に釘を付きし全治一週間の裂傷を負つたが同柏谷一郎君（三〇）も右眼へ腕用ポンプの腕木を打付け同樣一週間の打撲傷を負つた

時局の波に乘り

—黑ダイヤ景氣は躍る—

勿來川部地方炭礦界は時局の波にのり最近大日本炭礦の中央礦を始め藤田、榮、鈴木、廣部第二の各炭礦が採炭を開始したほか採炭中止狀態にあつた大日本炭礦新礦、三松炭礦その他も採炭が復活、泥炭、屑炭までが飛ぶやうに取引され文字通りの黑ダイヤ時代を現出勿來驛積の炭量だけでも十月分二萬二千八百十二トンで昨年同月に比し五千五百四十七トンの激增、本年一月から現在まで昨年より四萬五千餘トンの增加ぶりであるこれに驚いた勿來驛では石炭積込み線二本とポケットの新設を急いでゐる騷ぎだ

家庭群の表彰傳達

昨日草野村で

草野村ではさきの防空演習に優良な家庭防火群としては今度[illegible]第一號、第二號、第三號、第四號第五號各家庭防火群及び仲乃組防火群が縣知事から表彰されたので一日の興亞奉公日を期してこれが表彰狀傳達式を擧行した

大氣豫報

今晩は北の風 晴

明日も北の風 晴一時曇

柳內上等兵戰死

小名濱町字船引場出身柳內重明上等兵は去月二日湖北省渡陽縣峰口附近の戰鬪で名譽の戰死を遂げられた旨この程實家に通知があつた

同上等兵は留吉氏（五七）ヤイさん（五二）の次男で遺族は兄は秀明君（三二）妹サダ子さん（一八）の外に二人の弟妹があり妻女ハツさん（二四）との間に一粒種のとも子ちやん（三）がある、出征前は自家の漁業に從事してゐた模範青年であつた

お互に……

氣をつけませう

最近は米不足に次いで木炭不足でいゝ加減ウンザリしてゐるところへ今度は燐寸の不足と來た、火の氣のない冬にまた〳〵マッチのない冬だ、うつかり風邪でも引いたら今後はアスピリンがないと來るかも知れない、これぢや滅多に風邪も引けないといふもの……お互に氣を付けませう

浮き出す若手吏員に

"臨時手當"で"暫く待つた"

人材拂底になやむ市役所の苦肉策

果して結果は……？

お役所に於ける人材拂底は殷賑産業への轉職續出によつて相當深刻なものあり殊に、市町村役場に至つては若手吏員の欠乏甚だしくして何れも悲鳴をあげてゐるが俸給のあまり高くない事によつて縣下四市中でも斷然他を壓倒？してる平市役所などは御多聞に漏れず極度の人材拂底に惱んでゐる三年、五年と勤續してどうやら一人前の吏員樣になつた若手組は一ケ月三十圓位のサラリーでは到底生活してゆかれないとどし〳〵軍需工場へ轉職今まで僅か三十圓位の吏員君が俄に四十、五十圓と高給を支給されるので結局類は友を呼んで他の若手組も高給に憧憬れ"辭表提出"となる、この辭表提出の洪水は如何にも喰ひ止め得ないので、どゝのつまり"臨時手當支給"となつたのだ、この手當の策戰が果して功を奏するかどうか、今後が見物だとは某吏員氏の獨言

大陸を旅して（一三）

篠山廉

全國聯合協和會傍聽

觀光バスの見學を終え、舊知松川力八君に導かれて、現に開會中の協和會を傍聽する事になつた、松川氏は本縣耶麻郡の出身、夙に師範校を卒へ續いて高等師範に學び、後北京に遊學し建國の頭初、選はれて協和會指導員として渡滿、體格偉大眼光炯々人を射る偉丈夫、見るからに持つてこいの風貌、現に首席指導員として大に幅を利かして居る、この君の案內で一行は玉座の下、國賓席に導かれた、大に面目を施しつゝ議場を見まわすと、正面に左の文句が掲示されてある

綱領

一、滿洲帝國協和會者乃唯一永久且擧國一致之實踐組織體與政府表裏一致

一、建國精神之發揚

一、民族協和之實現

一、國民生活之向上

一、宣德達情之徹底

一、國民動員之完成

藉此以實現建國之理想而期創造道義之世界也

これを見ても本會滿洲建國の趣旨を徹底せしむる根本機關にして、吾が帝國議會に比すべきものなり議員は三百八十名其の選擧法が亦獨特だ、即ち邑議員は邑の住民が公選し縣議員は其の縣の邑議員が互選し省議員は其の省內の縣議員が其內より互選し更に協和會議員は省議員中より互選するが故に、議員の資格が立体的關係を有して居る、だから此の議場にある議員は、省縣、邑に議席を有する譯なので其言ふ所實に具体的深刻だ、この法は石原將軍が、世の政黨政治の弊を艾除せんとの考で創設されたものだと云ふ事を聞かされた

議員は、滿、日、漢、蒙、鮮の各族に亘り態度が極めて眞面目だ議場、靜肅ヤヂなど絕對に飛さない

議題は、第四十七號、民食調節に關する件、といふのが上程された、議場の用語は、日、滿、兩語に限られ、日語は直に滿語、滿語は日語にすぐ通譯される議長は滿人鄭君、實に堂々たるものであつた、甲論乙駁型の如くすむと政府委員が說明する、最後に決をとらないのも、面白い、それは、多數論必ずしも眞理ならず、其採否は上席の御意に依つて最後の斷案を降さるのだそうだ、面白く傍聽すること約一時半で閉會と共に退出した

この夜、松川氏の招待で、ロシヤ料理の饗を享けた、ダンスホールの如き場所で、音樂とダンスを見ながら飲食をする、醉ふて飛び出して、踊つたり踊つたり矢釜しい事夥しく、一切、話も出來ない、疲れた頭には、とても耐えきれず暫くにして辭去大和ホテル別館に一泊直に旅大狗、大合戰展開、この味を解せぬ人達にはさぞ迷惑千萬だらうが、そんな事一切お構なしに愚說を陳じながら、やるところに又妙味あり

空の旅

十月九日いよ〳〵第二班の老篤組の飛行機に乘るべき日が來た、文士作山氏新京から南を南滿だ、ナンマンダ〳〵〳〵語呂極めて惡い、あれ程、妻子が出發の際門迄出て、それだけはと心配してくれたものをと考へれば、氣味も惡いが、皆な乘つたものを吾れ、み辭するも、と、妙な所に大勇を示し特に小氣を裝うて飛行場さして自動車に導かれたが、誰もの顏が少し血の氣が薄いやう、しかし斯くなれば、成る樣にもなるだらう、運は天に作り滿語 沒法子了（メーハーズラ）だ、

小名濱支局通信

東部聯合教育總會に臨みて（六）

支局長 小野務平

中等學校新撰拔法が果して良否が何れに決するかは議論があるであらうが兎も角も父兄側から見て甚だ心細さを感ずる、尤も從來の競爭に打ち勝ぶとするには學童の努力も決して容易でないが何れにしても一つの關門である以上將來の爲めにも玆に精勵するは當然で入學撰拔法から言ふて公平に傾く方法として比較すれば今回の改正方法が決して父兄にも兒童にも安神を與へ得ない結果を齎すものと見る事が出來る

其上今度は新らしく各學年に於て成績順の競爭が行はれる結果となり戰術は更に別途に依つて行はれると云ふ現象を見ない譯けには行くまい、只玆で聊か意を強ふするは各學校の校長にして飽まで公正無私に出づるに信賴する人格者を以て充たされてある所であつて玆に吾々父兄は一縷の望をかけて居る次第である兎も角之を第一回の試驗に徵し其結果を痛論するも時もあるであらうから此邊で此項を擱筆する事にする

篠山氏の談話がすむと各方部からの研究發表があつた、理科室と題した相馬方部からの提案次に皇民鍊成の教育方法の確立石城郡好間尋高校長谷川五郎氏の發表更に女子職業指導に關する一考察と題する市第二遠藤景芳氏の提案等更に方面を別れ國民學校音樂教科書に就ての双葉郡久之濱尋高校荒[illegible]氏の創案に係るもの等何れも四五十頁に亘る彪大なる內容を持つ研究資料であつた事は本教育會の爲めに大いに氣を吐くに足るものであつた

而して午後二時總集會として議事は終了を告げ玆に初めて梅津海軍大佐の講演に移つた、大佐は日獨、日支事變に際して然かも〇〇方面に活躍し最近歸還したる經歷を有し過去の實戰狀況を詳細に說き來り說き去り舌端遂に火を吐く熱辯をもつて止め日支事變の處理方法に就き大佐一個人としての意見を述べ銃後にある殊に教育者としての處すべき道を詳述して餘蘊がなかつた壇上にある事二時間、一杯の水を取らず熱汗淋漓として滂沱たるものあつた、最後に臨席して居つた小野縣議は地許町長としての挨拶殊に縣會議員中でもあるから萬に一つ公僕たる責が果すだに役に立つなれば遠慮なく命令を發して呉れとの愛嬌たつぷりの結論で閉會するに至つたのであるが本日初めての催しでもあり地許として何の風情もないのを遺憾とする次第であつた（完）

小名濱町火防デー

小名濱町

警防團では一日午前九時から火防デーとしての查閲の檢査を執行し更に家庭防空群役員幹部を召集し群內の善行者の表彰、火災時機に於ける心構へ等の打合せをなし時局下に於ける火災未然防止に一段の緊張を見せ二萬町民に安神を與へたと共、一方家庭防空群、自衞團も各別に防火祈願祭を執行、座談會を開催した

入試問題で四市協議會

內申が審議の中心

平市內の篠山第一、千葉第二、赤津第二、菅波第四の各小學校長は四、五の兩日若松市で開かれる福島、郡山、平、若松の四市小學校長會に出席するが當日は四市內小學校長卅名のほか四市教育課長、縣から影山教育課長も出席して目下教育界の問題とされてゐる中等學校の入學試驗廢止に伴ふ小學校兒童の考査問題を中心に愼重審議するこれは明春實施される中等學校の入學試驗廢止に伴ふ重大な役割となる兒童の成績內申をいかにするかの根本方針を決定するものでこれによつて縣下小學校の入學試驗廢止に對する態度を決定される譯で各方面から注目をひいてゐるこれと同時に論議されつゝある小學校教員の待遇改善や時局教育の諸問題について眞劍な協議が重ねられるといふ

第三校へ寄附

平市白銀町吉田喜代治氏は長女喜美子さんの結婚披露宴費を節約した金五十圓をこの程市銃後奉公會に寄附した外第三小學校の備品費として金百圓を寄附した

植田方部で勞銀を決定

土工日雇は二圓一圓

植田署では二十九日管內における五人以上の從業員使用の事業主を集め賃銀の協定について協議の結果左の如く決定したが炭礦方面は請負制度のため協定は困難とある

◇土木建築請負中土木人夫（午前六時半より午後四時半迄、十八歲以上五十歲迄）男一圓四十錢より一圓八十錢女六十錢より一圓◇土工一圓八十錢より二圓（但し飯場土工及び人夫は二割增）◇製作工場人夫二圓以內

天狗の集り

開棋大會開く

石城地方棋仙の集會は久しく休會してゐたが明三日午前九時から湯本町山形屋旅館で開く、當日は佐藤庄太郎三段、山崎德次郎一二郎初段、山崎善一級の高段者をはじめ佐々木芳、安島重三郎、鈴木康平、宮下秀貫、赤津修一などの強豪相集ひ熱戰を演ずる筈である

武運長久祈願

小名濱町では今回更に〇〇名の重大任務に就く諸君の爲めに昨三日午後一時から鎭守諏訪神社に於て武運長久の祈願祭を執行する事となつた

先づ戰線へ

前戰勇士へ送る

年賀郵便取扱始まる

新春はまづ兵隊さんに"お目出度う"の便りを出すやうにと平郵便局ではチラシを配布するほか"皇紀二千六百年の初便りは先づ戰線へ"の標語入りポスターを街の要所〳〵に貼付市民に呼びかけることになつた"戰線行年賀郵便は何時からでも受付るが普通年賀郵便のやうに「戰線行年賀郵便」と表示されたいといふ

錦村の軍國の母

父の死を知らさず 伜を激勵

錦村小野キクさん（四八）の夫直司さん（五二）は昨年秋死亡されたがキクさんは目下中支戰線で活躍してゐる長男〇〇部隊嘉內衞生伍長の働きがにぶつてはと一年も經過した今日一、何等變つたことが無いから御國のため盡くすやう」と便りをやりこれこそ軍國の母だ！と附近民を感動せしめてゐる

植田の防火デー

植田町では防火デーの一日午前七時全警防團員が町內防火宣傳行進を行ひ、又鄕社八幡神社で警防團長が令旨捧讀、防火祈願をし終つてポスター、ビラを配布して防火思想普及につ

洋服を盜み

大野村字中島無職永山菊見（二三）は去る十月二日午後七時頃平市小窪字鶯內夏井川改修工事場から富塚義雄君の洋服、レンコートこの價格五十圓を窃取したこと發覺この程平署に檢擧された

お賽錢を國防費へ

西山君の快擧

植田町小濱大工職西山長三郎君は出征した實兄榮治等兵の武運長久を祈願し毎朝一錢づつお賽錢をあげてゐたが今度自分の入營に際しこのお賽錢貯金に若干圓を添へた六十圓餘を植田署を通じ國防獻金した、また同町海野軍雄君（磐中五年生）は陸軍經理學校入學の喜びに金二圓を國防獻金した

小名濱魚市場便り

揚繰漁業船の歸港と共に活氣立つた小名濱漁港で西北の風強烈の爲めに惱まされ早歸りが主で只鰯群の襲來を見るだけで未だ大漁とは行かないので氣を腐らして居る一方底曳漁船十七艘の漁獲水上げは左の通りである

大鮃二十八貫、小平三十貫、マコ二百五十貫、章魚百二十貫、喉黑七十貫、アラ、スズキ、三十貫等で一日の水上額は僅に二千圓內外であると

平市人事

◎[illegible]

南町二六目下東京市荒川區三河島町六ノ二一九原野一氏二女晴子さん

新町二二猪狩己之吉氏長男欽彌君

◎婚姻

茨城縣鹿島郡鹿島町大字宮下一、同七六小野正氏（二七）と月見町三三味岡房子さん（二六）

◎死亡

下平窪諸荷三目下大野村大字駒込字久保六朝松氏[illegible]男長瀨豐[illegible]郎氏（[illegible]）

新川町四芳太郎氏二男[illegible]妻忠太郎（[illegible]）

ラヂオ

今晩の番組

▼後六、〇〇 子供の時間 お話「海のつはもの潜水艦」海軍中佐加藤恭亮

▼後六、二五 講演「戰時に於ける米穀貯藏と其食糧的價値」農學博士近藤萬太郎

▼後七、三〇 國民歌謠「愁」◎出征家族の夕◎七、四〇 、新演一、獨唱と合唱譽れの家へ他

明日の番組

▼前七、〇一 臘八大接心—京都市妙福寺僧堂より中繼—

▼前七、三〇 朝の修養「興亞の先覺者を語る」林久治郎

▼前九、三〇 子供の時間 木琴とアコーディオス みどり音樂會員

▼前一〇、〇〇 週間を顧みて

▼前一〇、四〇 皇威宣揚武運長久祈願祭—山形縣米澤市別格官幣社上杉神社より中繼—

▼後〇、〇五 合唱と管絃樂、合唱仙臺音樂協會合唱團 伴奏仙臺管絃樂團

▼後〇、[illegible] 北米西部向海外放送、俚謠「紺曲」東北地方古謠「卷」獨唱佐藤千夜子、獨唱ヴオーカルフ・オアー、作奏東京放送管絃樂團

▼後一、三〇 ラクビー試合實況—明治神宮外苑競技場より中繼—

▼後六、〇〇 子供の時間 ラヂオドラマ「級長の探偵」川端康成原作文學座

▼後六、二五 講演「大陸の探檢」先驅者入山桂川—善隣協會囑託[illegible]富男

▼後七、三〇 錄音リポート

▼後七、四〇 箏曲、山室千代子ほか

▼後八、〇〇 マンドリン合奏、オルケストラ・フオニカ・タケヰ

▼後八、[illegible] 落語「嘘つき彌次郎」一遊亭[illegible]

▼後九、〇〇 浪曲 鈴木觀山 [illegible]之丞ほか

…お買物なら
在庫品豐富な…
平市田町
銀座通り
玉屋洋品店
電話六五六番

戰國間諜傳

大井沢一能 作　山科一郎 画

第百二十二回

男の意地（三）

忠五郎の目はすつといてゐた[illegible]尊さんと[illegible]めてか笑ふとするのを[illegible]く

「エヘ、、、なにこ、ち、ことで[illegible]今日はおくびです。千鶴[illegible]殿のそ、[illegible]がしてな一まことに[illegible]起、よろしふござい[illegible]な[illegible]千年の[illegible]をもち、二人の日の[illegible]小松などゝ申しましてな」

「べろ〳〵〳〵」とごまかした。

「む、目[illegible]たいとな、みなさまが[illegible]になられたら、そのあとで[illegible]をいたよくがよい。[illegible]も[illegible]な[illegible]だい出來る。あゝそー[illegible]何んぢや、お能のお[illegible]まつたら、今日は下々の者たち[illegible]まで[illegible]に[illegible]成つてゐるによつてその方共も見て行くがよい。何に遠慮はいらんよ」

[illegible]に今日は[illegible]でニコ〳〵と[illegible]の此の日たい此、[illegible]のよろこびを出入の者にまで分けあたへてゐた[illegible]ひがけない[illegible]ないその話に、二人は[illegible]はず[illegible]を見合せてニコッと[illegible]つた。そん[illegible]から[illegible]れば[illegible]分の光榮に[illegible]んでゐるか、[illegible]に見える

「これは〳〵[illegible]な事で、[illegible]の代まで[illegible]ぐさになりまする。さ、そのつもりでこれ、[illegible]、うんと[illegible]してお[illegible]ひしろよ。よいか」

よほどうれしいと見えて忠五郎[illegible]は[illegible]分ふるへてゐる。

やがて午の上刻、[illegible]がポッ〳〵と[illegible]成りになる[illegible]になると、木多[illegible]はもうたを下へと大[illegible]、もちろん[illegible]所口などは人の[illegible]も[illegible]ともにわからない[illegible]た[illegible]し、そのために[illegible]五郎[illegible]の[illegible]人も[illegible]しまだずにゐたとは[illegible]ひなことだつた。とこに[illegible]はいくら[illegible]だの何んだのと云つて、[illegible]も町人[illegible]な[illegible]に化けたとて、生來の[illegible]はどうすることも出來ず、その[illegible]白さ、きめのこまやかさ、[illegible]ごし[illegible]はどう[illegible]す[illegible]なかつたから、[illegible]し一[illegible]におれば[illegible]ちはやくも[illegible]されるに[illegible]ひなかつた。[illegible]下女や女中[illegible]な[illegible]などに見られたらそれこそ何んだかんだと[illegible]がたて、[illegible]はとんだ[illegible]をうけないとも[illegible]らなかつたであらう。その[illegible]の大[illegible]の女中共はなかなかその[illegible]の[illegible]、そろひで美しい[illegible]などを見つけたらそれこそそには[illegible]おいておかない[illegible]では[illegible]して[illegible]へなかつたからであつた。

忠五郎の[illegible]、[illegible]が二人を呼び[illegible]たのは丁度その[illegible]しさの[illegible]中[illegible]にまぎれて、[illegible]にも見つけられず二人は[illegible]の方へ[illegible]內されて行つた。

「こゝで[illegible]らく待つてろ」まず[illegible]に——」

お[illegible]は松の[illegible]の近くまで行くと二人を[illegible]のところに待たせておいて、[illegible]らくすると[illegible]の[illegible]から、きねさして二人を[illegible]の[illegible]のところへ[illegible]內した。

そこには米村源右衛門がゐて、

入つて來た[illegible]の[illegible]を見ると

「おゝ〳〵、これは〳〵ようこそ[illegible]られた、忠五郎どのにも[illegible]」

「米村さま、おゝおなつかしう[illegible]じます」

[illegible]は後は[illegible]の[illegible]も出ずむせび泣いた。今までこらへ〳〵て[illegible]の[illegible]か、どつとせきを切つた[illegible]にあふれ出るのであつた。米村源右衛門の[illegible]を見た時は、まるで父親か、[illegible]か親類の[illegible]に[illegible]つた[illegible]に、たゞもうなつかしさと、うれしさでその[illegible]にすがりついて[illegible]ふ存分泣きたかつたのは[illegible]であつたらしい。源右衛門も目をしばたゝき[illegible]ら、[illegible]の泣きむせぶ[illegible]を[illegible]い〳〵と口のうちでつぶやきつゝ見つめてゐた。忠五郎もお[illegible]もらひ泣きをした。やがて一[illegible]の[illegible]をお[illegible]に[illegible]して[illegible]いたもようこんだりし[illegible]、その[illegible]で[illegible]ふわけでお[illegible]のそろへておいてくれた[illegible]中[illegible]にお[illegible]の介[illegible]へてずつかり[illegible]ると、見[illegible]へる[illegible]りの[illegible]しい[illegible]にかへつた。

次に[illegible]の[illegible]成りを待つばかりである。木の[illegible]も[illegible]一[illegible]のさんざめきかかすかにきこゆる。

少年少女のページ

◇……小ばなし

弟「兄ちやん、螢はどうしてひかるの？」

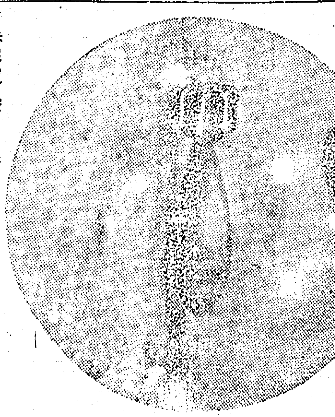
兄「そりやア、光りをだして明るくして、おヘソがあるかないかさがすんだよ」

空襲物語

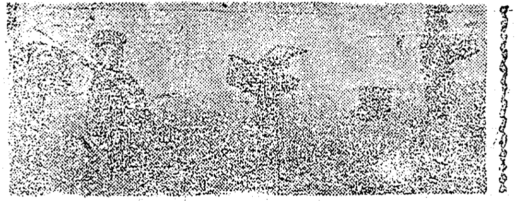
最初の人◆最初の物

獨逸が使ひ初め

陸軍航空本部航空兵少佐　西原勝氏談



わが國の[illegible]、海の[illegible]が又飛行機で敵の[illegible]の上に爆弾を投下して粉碎し敵をちゞみあがらせたその正確さと勇武は世界の[illegible]史に輝やいてゐます。今度のヨーロッパの[illegible]でもドイツ機がポーランドや[illegible]を爆撃し、英、佛両[illegible]もドイツ領を爆撃してゐる状況が傳へられ、交戦各國の首都は必死で防空につとめ小[illegible]生は[illegible]してゐます。爆撃こそは近代[illegible]の[illegible]です。廿五年前のヨーロッパ大戦のとき、西暦一九一四年（大正三年）の八月三十日、一台の飛行機がパリの上空に姿を現はして三つの爆弾を投下し、傷五人を出しました。これが[illegible]のドイツ機の空襲です。翌年一月十九日にはドイツのツエッペリン飛行船がロンドンに飛んで、うろたへ騒ぐ市民の頭上に數個の爆弾を投下、死者四名、負傷者十七名をだし地上に凄惨な有様を現出しました。ロンドン防空飛行隊の[illegible]は七ヶ所の飛行場から一齊に飛び上り[illegible]ツエッペリン目ざして追ひすがらうとしましたが、當時の飛行機は不完全で、どんなにあせつても飛行船の[illegible]空に昇るまでには[illegible]十分もかゝります。この間に銀色の怪物はきもをつぶしてゐるロンドン市民を嘲笑ふやうにいう\/とその姿をかくしてしまひました。ドイツ空軍のイギリス空襲はその後も引つゞき、飛行船、飛行機で三百四十二回、投下した爆弾は實に九千個、重さ二百八十トンにも及び、又、[illegible]とその[illegible]空[illegible]した回數は約六百回にも及びました。英國、フランスの空軍もドイツにむかつて猛烈に空[illegible]するやうになりましたが、ベルリンに遠いのでやむなくライン河の沿岸にある主[illegible]都市や[illegible]工場地帯を爆砕しました。その回數は一千五十四回、最後の大正七年は非常に激しくなり五百五十七回、一日平均二回づゝといふ有様でした。最初は防空設備がなかつたが、つひに高射砲、高射機関銃、[illegible]その他の[illegible]へて防空方法も進歩し、飛行機もこの爆撃機と壮烈な空中戦を展開しました。そして爆弾も大型になり、つり下げ方法も進歩しました。恐るべき火攻の[illegible]焼夷弾は一九一八年（大正七年）ドイツでエレクトロン、テルミットなどといふのが發明されました。鋼鐵でもなんでもドロ\/と溶かしてしまふといふ素晴らしい威力を出す武器で、この焼夷弾が[illegible]されて間もなく、オーストリヤのローベル、エーブ[illegible]中佐は爆撃機三十台に一千個の焼夷弾をつんでロンドンをおそはうとしました。このおそるべき[illegible]がロンドンへ到着する三十分前に[illegible]中止命令が[illegible]ました。「たとへ半分[illegible]ちおとされても[illegible]りの半分でロンドン市の八百ヶ所から火災をおこさせ、たちまち灰燼にすることができたのに」と、中佐は残念がつたと云ひます。わが[illegible]が[illegible]用したのは[illegible]ですが、前にその[illegible]はこんどの支那事變からです。わが國は敵の爆撃をうけたことのない幸福な國土です。しかし、國民一般の爆撃の[illegible]にそなへて國民は空の護りを一日も忘れてはなりません。



移動カガシ？

火山と地熱

地球深部は二萬度

噴火と月との關係

火山の[illegible]の根本原因は地[illegible]である、[illegible]頃大[illegible]をした島[illegible]の如きもやはり地熱の作用で活動を起したものである、それなら地熱の原因がいづれにありやといへば、勿論宇宙創造説にさかのぼらざるを得ないが、大體地熱をもつて地球創成の際より賦與せられたものとなす説にあつては、地熱はたえず失はれつゝある、しかし地球が[illegible]を吸收してその[illegible]量を増すに從ひて、地殻の[illegible]力も加はり、從つて地熱は今も[illegible]加發生しつゝあるものと考へられてゐる

‥

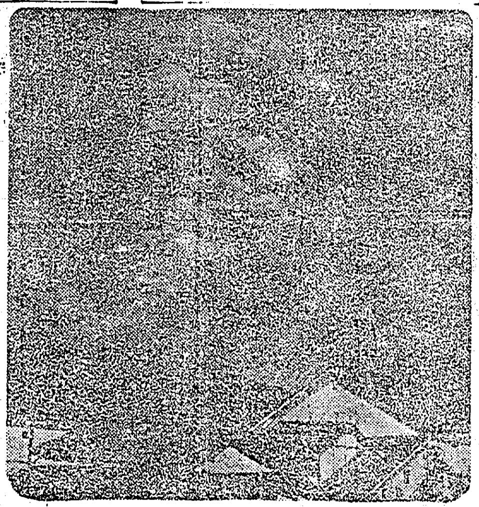
またラジウム説によれば、地下十[illegible]里の深さに至るまでの地殻内はラヂウム[illegible]を含有し、地熱はその酸化によりて生じ、地下約十八里のあたりでは、千六百度（攝氏）に達し、さらに地球の[illegible]部に存する熱量は、サリスベリー氏によれば、二萬度に[illegible]すると[illegible]されてゐる、されば太古時代にあつてはほとんど火山のみにより成つてゐたが、古生紀より今日まで大なる變化はなく[illegible]せるものと認められる、[illegible]であつたもの〻如く、歴史時代にはいつて大なるふん火の起つたのは月について調べると二、三、四及八月、即ち[illegible]である、さらにその[illegible]は今日の如く局部的であつたけれど時としては全地球に渡り火山活動の盛んであつた時代がないでもない

‥

しかしてその時[illegible]は周期的におこり、第三紀の如きは[illegible]だ盛かんに[illegible]ともまた關係があるので[illegible]の月のころ、（一日より五日まで）及滿月のころ（十一日より廿日まで）がもつとも多い、又火山は大陸の縁邊に多い、ふん火と海水との關係もしば\/つたへられ[illegible]ガスのふん出の如きもその一證と認められた、がしかし大陸の中央、天山[illegible]、[illegible]河の附近にも火山のあるを見ればその説はあたらないやうである　しかして地殻の弱點にそふて發するがゆえに、地震の分布と一致するものなるは明でその分布は[illegible]に[illegible]せず、兩極より赤道まで存在する

‥

フヮグス博士の[illegible]によれば太平洋の極北[illegible]米大陸より南極[illegible]にいたる一萬[illegible]マイル、アラスカよりアンデス、ホーン岬にいたる八千マイルの間と大西洋を南北に走る千マイルの間（この線は第三期時代に盛んにふん火）及地中海、[illegible]海地方より[illegible]諸島にいたるもの[illegible]及東アフリカ地方にある火山[illegible]は三百五十五を數へたが、他に四百、五百[illegible]の説もあるがこれはまだ確定されない、しかして我邦におけるその數は百九十二座にして中部火山五十六である



米國から歸つた

練習船

文部省[illegible]練習所の練習船[illegible]丸と、日本丸の帆船は少年生徒五十名を乘せて太平洋を帆走し、アメリカを訪問して先日歸りました。[illegible]丸船長と[illegible]日本丸[illegible]の壮快なみやげ話――

「二つの帆船が帆をならべて太平洋を横斷したのは最初のことです　横濱　サンフランシスコ間[illegible]五[illegible]〇〇海里を四十八日間、サンフランシスコ、ハワイのヒロ間二〇〇〇海里を十八日間、ヒロ、横濱間三五〇〇海里を三十八日間でしたが、みなが非常に元氣でした。帆に風をはらんで太平洋を快走するのですが、風の關係で二つの船がはなれ\/になつて無線で連絡してゐるうち、また、風のために船が接近したときなど皆が歡聲をあげて喜びます。そして、風のない日は太平洋の眞中で小さなボート競走したりしましたが、愉快なスポーツです。（寫眞は海王丸）

空襲と動物園

なぜ猛獸を殺すか

ロンドンの動物園では戦争の空しうに備へるため、ライオン、虎、くま、ゴリラの子のやうなもう獸や毒蛇のやうな[illegible]、そのほか[illegible]蛇、毒虫の類が殺され、象やキリン、黒猩々のやうなおとなしい動物は郊外に避難したさうです。みなさんとはいつも仲よしの動物たちが戦争がはじまるとなぜ味方の手で殺されてしまふのでせう？それは空しうをうけて爆弾が落ちた場合をりの一部がこはれるともう獸や毒蛇などが、あわて〻市中にとびだすおそれがあるのと、イギリスやドイツのやうに日本よりうんと肉食する國では、もう獸に食べさせる肉のために人の食べる肉が不足する心配があるからです。だがみなさんもし動物園のをりがこはれた時すぐに待つてましたとばかりライオンや虎がとびだして人にかみつくといふやうに考へてはいけません。このごろの動物園のもう獸は大ていをりの中で生れてちやんと料理した肉ばかりたべるのにならされてゐますから、すぐに人におそひかゝることはめつたにありません、しかし人に[illegible]あたへなくとも避難する人たちのさわぎが大へんですからやはりその前に[illegible]か[illegible]によつてかあいさうでも命を絶つことになるのです。そこでどこの動物園でももう獸用の[illegible]と、もう獸用[illegible]とは平生から十分に用意しもう獸に向つて射手もちやんときまつて練習してゐます、犬、豚、馬、牛の類は軍用のガスマスクがあり、リタ[illegible]のやうな類人猿に子供用ガスマスクを上手につけることを練習させてあります。

金魚の冬仕度

金魚に對する冬越しの用意をおつたへませう

……　……

冬越しの用意としてはまづ池の周圍によしや藁で片屋根をつくり、寒さに向ふに從つてだん\/池全體をおほふやうにしてさむさから保護することが大切です。そして晴天の日だけ日にさらすやうにしてほしいものです　小さな容器であれば陶器の[illegible]あたゝかい場所においておけば[illegible]夫な金魚はたとへ池中器の表面に氷が張つても底深く沈んでうごかず不食で冬越しをするものです、從つて冬越しの場所としてはあたゝかく、あまり[illegible]にならぬところをえらぶことです。この期間の水がへはさう必要ではありませんが、水替をする場合にはよく[illegible]一日か二日くみおいた水をそゝぎ込むやうにします。月に一回ぐらいの水替で結構です

注意しなければならないことはこの期間中の餌のあたへ方です。餌には元來動物性のものと植物性のものと二つあるのですが、金魚はミジンコ、ボウフラ、[illegible]、といつたやうな動物性のものを好んで食べるものですしかし冬越しをしてゐる金魚はほとんど絶食状態をつゞけますから別に餌をやる必要はありません、しかし冬越しに入る前絶食に堪へ得る程度の餌をやつておくことです。それには以上の動物性の餌以外に大麥、[illegible]めん類、フスマなどの植物性の餌を朝夕二回、または一定時に與へます。大麥の餌は一度水煮をしてのちくだき、めん類は湯煮とし、フスマは熱湯でねつて與へるやうにします

冬越し中に、もし餌をやる時にはほんの少量與へ食ひ殘りは必ず取り去るやうにしてほしいのです

時局小説

驀進

（[illegible]上演映畫化）

士別樹

北野傳画

第二十三回　陷穽（三）

かの女は妙に胸がはづんでゐるばかりで中野から何か話されても返事をすることさへ碌にできないのであつた。

「照子さん、貴女は、日曜なんか何處かへ出かけることがありますか……」

中野は、思ひ出したやうに、こんな事を聞いてゐた。

「え〻時々は？……でも、大抵家にゐることが多うございますわ」

「さうですか。散歩はお好きですか？」

「え〻、好きですが、でも、職業柄行く[illegible]のまだ餘裕がないものですから……」

それで彼も、[illegible]せてしまつた。

かの女は、かうして中野の話しに答へてゐるうちも、[illegible]、ちがつたことを考へてゐた。

そして、その考へてゐることを、どうかして中野に話し出したいと思つてゐたが、それをあせればあせるほど、いよ\/言ひ出す勇氣を失つてしまふのである。

果ては、もどかしくなつて自分の[illegible]を、逆上に、投げつけてやりたいやうな氣さへ起つてくるのだつた――しかし、漸く少し落ちついて考へて見ると、女の方からはさう[illegible]としても、それを言ひ出すことはできないと云ふことを、はつきり知つてゐた。

今の場合、かの女としては、中野の[illegible]を待つてゐなくてはならないのだ。考へるとそれは[illegible]にたまらない氣持ちがしないではないが、さうかといつて、それ以上にどうすることもできないのである。

「では、照子さん、又、[illegible]で失禮します」

氣がついて見ると、停留所を三つも越してしまつてゐるので中野は、かの女の歸りがあまり遲くなつてはといふ懸念から、別れの挨拶をした。

「あの、それでは？……」

「失禮します」

彼は、かう云つてから、かの女に輕く挨拶をして、近道をして行くつもりだらう？　左手の暗い横町の方へ曲つて行つた。

照子は、その中野の默つて行く姿を、淋しく、瞳を凝めるやうにして、見送つてゐた。

×　×　×

その翌日、一兵が[illegible]から歸つて來ると間もなく、[illegible]が訪ねて來た。

「あら丁度好かつたわ、[illegible]へお電話したら、今歸つた許りですつて云はれて、内々心配しながら來たのよ。」

かの女は相變らず今日も[illegible]で、[illegible]から出て來たといつたやうに、パーマネントが綺麗に好よく[illegible]いてゐる。

「隨分暑いわね……」

かの女は小さな扇子で風を入れながら

「それはさうと中野さん、あなたに今日はちよつと[illegible]があつて[illegible]ひましたのよ」

「え、[illegible]ですか」

「勿論よ」

また[illegible]の[illegible]でもしに[illegible]んだらう。彼はさう思ひながら、照子の顔を眺めた。

「あ、さう\/あなたに[illegible]けど、お[illegible]」

かの女は[illegible]つた。

秋から冬物は
是非！
當店から
（在庫豊富）
玉屋洋品店
平田町通電話六五六番

芳醇！
美味！
たひら正宗
山崎合名會社
電話一〇番

外科 内臓外科
X光線科
院長 安齋 徹
―新設―
▽入院隨意△
平市田町
安齋醫院
電話四五七番

手續簡易、利息低廉
庶民金庫の
資金を御利用下さい
信用組合平庶民金庫内
庶民金庫平代理所

これは便利！
▼手を荒らさず
▼絹、毛織物、木綿、スフ生地を傷めず
▼つけておくだけで洗へるものよい
㊫マルミ粉末石鹸
製造元 平市[illegible]
電話(呼)四〇八番

耳鼻咽喉科専門
鈴木醫院
醫學士 鈴木[illegible]男
平市[illegible]町（藤田女學校前）
電話五八番

風熱頭痛
アコーラヒタ
本品は當藥局主藥劑師責任調製研究せるものにして解熱、鎭痛、強心興奮の作用を有する。故に流行性感冒、頭痛、肺炎痛、ロイマチス、腰痛等に効あり大人一回一包宛特に白砂糖にて頓服用す。
正價 三十錢、五十錢、一圓

喘息
百日咳
鎭咳藥「アコー」
本品は[illegible]博士[illegible]エフエドリンを主藥に貴重藥數種配合せるもので喘息百日咳肺[illegible]急慢性氣管支カタル、感冒等々喀痰咳嗽に効有り
正價 五十錢、一圓、二圓
平市古鍛冶町一〇（縣社石段下）
調劑發賣元
[illegible]藥劑師 明治藥專十 阿部康雄
電話一四四番
振替東京一〇〇六五番
阿康藥局

新鰹節
と"美味"しい
うにの
罐詰
魚問屋
志賀盛榮商店
平市四丁目（電話二一三番）
日本生命平代理店

吉田眼科醫院
平市紺屋町　電話六八番
醫學士 吉田久雄

メガネは！
平市二丁目
玉屋

帝都演藝豪華名流出演
應召軍人慰問品
基金造成演藝大會
浪花節 廣澤虎若
同 鈴木照子
講談 神田伯山
歌踊 丸山和歌子
外數種
期日 十二月十九日 ヒル正午 夜五時
場所 平公會堂
會費 金八十錢
主催 磐城通信社
後援 平市役所
外各種團体

外科一般 レントゲン科
内臓外科 泌尿器科
北川外科
平市新川町二七（電話四六四番）
醫學博士 北川芳夫
◎晝夜診療・入院隨時・血液檢査毎日

川代
エタニツトパイプ
鐵管

	耐壓封度	内徑	一本ノ長サ	一本ノ價額	ギボルト繼手代
D級	250	50ミリ	3m	4.72	2.90
〃	250	75	3	6.97	3.50
B級	100	100	3	7.90	6.25
〃	100	150	4	17.70	9.20

平市仲町通り
㊫山田文一商店
電話262番

安流丸
梅毒とたい毒
吹出物
はれものは
安流丸
に限る
平市田町
阿部藥舗